

# 花物語通信

NO.20

## 今月のトピックス

★365日

毎日だれかの誕生日

記念日にお花を贈ろう

キャンペーン

～花贈りリマインドサービス開始のご案内～

★お花を持って会いに行こう!!

敬老の日特集 ～秋のお彼岸～

★9月の植物ワンポイントアドバイス  
今月のフラワーレッスン など

# 9

2015年 月号

暑い暑いと過ごしていた夏もつかの間、気が付けばスキの穂が顔を出し、朝晩の過ごしやすさを感じるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

夏を名残惜しむように響き渡っていた蝉の声もいつしか鈴虫にバトンを譲り、花屋の店先にも秋の気配を感じられる植物が入荷してきました。

9月の声を聞けば今年も残すところ4分の1ですね。夏の終わりには今年を振り返ってやり残していることへの更なるチャレンジ、そして夏のダメージを受けた心と体のメンテナンスをしましょう。今月もよろしくお付き合いください。

365日、毎日だれかの誕生日  
記念日にお花を贈ろう  
キャンペーン

リマインド（記念日事前予約）  
サービス開始のご案内

お誕生日や結婚記念日など、1年の中にはとっておきの大切な記念日がありますね。お仕事などやあらゆる事情で日時を忘れてたり、お店の営業時間内に間に合わなかったりといった「後悔」をしないよう、花物語ではお客様があらかじめ登録された日の数日前にご連絡し、ご希望のお花をお贈りするサービスを開始いたします。（登録は無料）

記念日登録はお1人様何件でも承ります。状況に応じてご来店でも配達でもご希望のイメージのお花を、心を込めておつくりいたします。

只今キャンペーン期間として登録いただいたお客様全員に特製メッセージカードと素敵なプレゼントをご用意！（キャンペーン期間9月～11月末日迄）皆様のご登録をお待ちしております。詳しくは店頭にて。



お花を持って会いに行こう!!  
敬老の日・お彼岸特集

暦の上で、今年の9月はなんと4連休。敬老の日・秋分の日と重なるお彼岸のこの季節は様々な秋のイベントが満載!!

そこで暑い夏にも休むことなく働いていた、おじいちゃんおばあちゃんにお花を持って会いに行きませんか？

当店では敬老の日の「特別推奨品」として、管理が簡単で長持ち品種の「胡蝶蘭」をはじめ各種「寄せ鉢」や「特製フラワーアレンジメント」、お湯にかけるだけで簡単美味な「北海道のスープ」や当店限定・拓殖大学北海道短期大学女子バスケットボール部名誉監督で、拓殖大学客員教授である横綱白鵬関監督の「北海道産安全安心の元氣野菜を使用した」特製「ハヤシライス」の缶詰など、ご満足いただける品々をご用意しております。

またお彼岸のお供えには優しい秋色のお花を。それぞれの喜ぶ顔が目には浮かびますね。



9月の植物

ワンポイントアドバイス

猛暑が続いた今年のような夏は、暑さに強いさすがのハイビスカスやサンパチェンスといえども元気がなかったのではないのでしょうか。店頭には並ぶ鉢植えも、つい最近になってようやく元気を取り戻し、新しい蕾も付け始めています。

ここで、もうしばらく夏の花を楽しむには、追肥として油粕や液体肥料を与えましょう。鉢植えで育てられた植物は毎日の水やりの度に栄養分も流れ出てしまうからです。



一方、暑さでダメージを受けた植物の植え替えはもう少し涼しくなってから。9月は行動せずにジッと我慢…といったところでしょうか。

〈予告〉お庭のお花も衣がえ…  
秋のガーデニング教室

開催のご案内



ハロウインの飾りを使ってかわいい寄せ植えをつくりませんか？

10月2日・3日・4日 午後1時30分〜

詳しくは店頭にて。

2015年秋〜今年トレンドを取り入れて…

2015年秋の流行色が発表されました。春夏にかけて人気色だったブルー（青）に加えてオレンジ（橙）の配色だそう。

ブルーといってもターコイズや緑がかった青と少し落ち着いたオレンジとの

組合せなら、初秋を彩るアイテムに躊躇せず取り入れられそうですね。

これから贈り物をされるご予約の方は、そんな色合いを意識されてはいかがでしょうか…。



今月のフラワーレッスン



秋の庭園

大きめの受け皿を使ってミニガーデン「箱庭風」のアレンジの製作をしましょう。

先にもお伝えしたように、花物語の店先には秋を彩る渋めの色合いの花々も多く入荷し始めています。寒暖の差が激しくなるとより深い色合いに変わるリンドウや紅葉の枝。

庭の植物もうまく取り入れたミニガーデン（箱庭）のようなアレンジメントは、テーブルの中心に飾れば季節を感じます。

最近東京でトレンドの、ボックスフラワー（箱入りフラワーギフト）の基本となるデザインです。

9月10日（木）のフロアラルガーデンおぶせでのレッスン、または17日（木）当店2階でのフラワーレッスンにどうぞお出かけください。

編集後記

お盆を境に、親戚・知人が関東・関西から我が家に訪ねてきました。

過ごしやすくなったのはお盆に入ってからだったのに、口々に『やっぱり信州は涼しい〜！』と、中には冬の布団をかけて寝る人も（笑）

信州・長野は涼しいというイメージがあるとはいうものの、関西などで報道されるような日中37度や38度の気温では、どこにも出かけたくありませんよね。

ひと時の訪問が過ごしやすかったこと、たくさんのお果実や野菜をお土産にして持ち帰ったことで、田舎のポイントが上がったことは言うまでもありません。

その地域それぞれのイメージ、思い込みについて考えさせられた出来事でした。来月号もお楽しみに。